

# フィールド レポーターだより!!



飛び出し坊やと一緒に

2016年度 第1回調査

## 「飛び出し坊やを調べよう」結果報告

滋賀に引っ越してきてまもなく、飛び出し坊やの存在が気になりはじめました。(私の地元では、飛び出し事故防止の文字看板を見ることはありますが、飛び出し坊やは見慣れないものでした。) 町中のあちらこちらに色々な姿があり、いかにも手作りされているようなものも多く、心惹かれる存在でした。飛び出し坊やに心惹かれる方は、私以外にもたくさんいらっしゃったようで、飛び出し坊やをテーマにした今回のフィールドレポーター調査では、調査票-1が40件、調査票-2が400件以上と、多くの調査票が集まりました。飛び出し坊やへの熱い思いが伝わってくる回答も、多数寄せられました。

調査では、飛び出し坊やはどんなところにいるのか、どんな飛び出し坊やがいるのか、飛び出し坊やは誰が設置しているのか、滋賀県で飛び出し坊やがどう認識されているのか、調べました。飛び出し坊やが信号のない交差点や学校の周りに多くいるということなど、結果の多くは日常的な感覚と合致するのではと思います。飛び出し坊やや支柱に書かれた文字から、設置者名を調べたことで、飛び出し坊やが行政や交通安全協会だけでなく、学校のPTAや自治会、さらには企業によっても設置されていることがわかりました。実際に設置に関わった方の声もお寄せいただくことができました。

当たり前のことですが、飛び出し坊やは、誰かが用意してそこに置いたからこそ、そこにいます。飛び出し坊やが道路や交差点を見守ってくれているということは、それを置いた地域の人がある場所を見守ってくれているということでもあるでしょう。交通事故防止をただ願うだけでなく、飛び出し坊やや、足元の標識や、通学路の見守り活動といった形で、実際に行動して地域に関わり、地域をよくしていく。様々な人による地域への働きかけを、飛び出し坊やは目に見える形で伝えてくれているように思います。

さて、調査をしてみて改めて感じたのは、飛び出し坊やの数の多さです。今回調べた436体の坊やは、滋賀県中にある飛び出し坊やのうちの、ほんの一握りでしょう。まだまだ調べがいのあるテーマのように思えます。調査に加えて、調査票の作成、結果の分析、報告書執筆に並ならぬ情熱を注いで下さったフィールドレポータースタッフの皆様、熱心に調査をして下さったフィールドレポーターの皆様に、心からの敬意を示したいと思います。

大久保実香

## 琵琶湖博物館フィールドレポーター2016年度第1回調査

### 「飛び出し坊やを調べよう」調査の結果報告

2016年度第1回のフィールドレポーター調査は、看板を調べてみたらどうだろう、というフィールドレポータースタッフのアイデアからスタートしました。中でも、「飛び出し坊や」への親近感と不思議な存在感にスタッフ一同共感するところが多く、これをテーマとすることにしました。多種多様な飛び出し坊やが県内にたくさんあることは認識していましたが、なぜこれほどたくさんあるのか、どれほど多様なかたちがあるのかなどと考えれば考えるほど興味深い事柄であると思えてきました。

飛び出し坊やは、その姿・形の多様さやと存在数の多さといった面から、すでに多くの関心を集めています<sup>1</sup>。滋賀県にもたくさんいる飛び出し坊やですが、どんなところに、どんな坊やがいるのでしょうか。それに加えて、飛び出し坊やが交通安全にどのように向き合っているのか、自治会や学区など地域の人々とのどのようなかかわりを持っているのか、調べたいと思いました。そこで、今回の調査では、各フィールドレポーターの住まい近くの飛び出し坊やの位置と数に加えて、どのように設置され誰が見守っているのかについても調査することにしました。

## I. 調査方法

フィールドレポータースタッフ(以下、スタッフ)が作成した2種類の調査票(調査票-1、調査票-2)に基づいて、フィールドレポーター(以下、レポーター)が調査しました。

「調査票-1」は、レポーター自身の飛び出し坊やに対する認識や、飛び出し坊やとの関わり、経験などを報告する調査票で、レポーター1人につき1枚お答え頂きました。飛び出し坊やを知っていますか、という基本の質問から始めました。

「調査票-2」は、飛び出し坊やの設置場所、姿かたち、設置者などを調査する調査票で、飛び出し坊や1体につき1枚お答え頂きました。設置場所については、住所の他にできるだけ緯度経度を報告してもらいました。姿かたちは言葉で表現しづらいと考え、代表的な飛び出し坊やの形を分類した参考資料<sup>2</sup>に基づき、よく似た番号を報告してもらい、併せて写真も送ってもらうこととしました。また、実際の飛び出し坊やを観察してもらい、設置場所や、飛び出し坊やに記された設置者名などの記述がないかなども記入してもらいました。

実際に調査を行ってみると、定義や説明、選択肢が不十分であったことから、選択に迷ったり、答えにくい設問があり、レポーターの皆さんには大変迷惑をかけてしまったことがわかりました。詳しくは各項目で述べますが、自由記述や写真などの情報に基づき、ご回答を必要に応じてスタッフ

<sup>1</sup> 県内の事例を中心に扱った記載として、例えば、下記があります。

ほぼ日刊イトイ新聞(2008)みうらじゅんに訊け この島国篇 滋賀県

<http://www.1101.com/shimaguni/jun/2008-06-15.html> (最終閲覧日 2017年1月27日)

びわっちくん(2011~)飛び出し坊や0系コレクション BLOG <http://biwayama.shiga-saku.net/> (最終閲覧日 2017年1月27日)

東近江市能登川博物館(2013)第102回企画展 飛び出し坊やとゆかいな仲間たち

<sup>2</sup>既製品の「坊や」の系列およびその番号については、東近江市能登川博物館(2013)第102回企画展 飛び出し坊やとゆかいな仲間たちを参考にしました。この資料については、スタッフの事前学習として東近江市立能登川博物館に伺った際に、教えて頂きました。

が精査させて頂いた設問があります。

4月上旬に調査票を全レポーターに配布し、調査期間は2016年4月～6月末日としました。7月以降も報告が続いたことから、2016年8月中旬を実質的な締め切りとしました。調査票は郵送と電子メールのいずれかで提出して頂きました。

## Ⅱ. 結果・考察

### 1. 今回調査した「飛び出し坊や」（調査票-2より）

飛び出し坊や1体1件として提出してもらった調査票-2の報告件数は、合計466件でした。飛び出し坊や1体1件として提出してもらった調査票-2では、1人のレポーターで70件以上の坊やについて調べた方もいらっしゃいました。

この466件の中には、人形型に切り出されていない交通安全看板が8件報告されていました。また、人形型ではあるものの、明らかに車両の通行の無い場所に設置されたものなど、交通安全とは無関係と考えられる看板も4件ありました(コラム参照)。そこで今回の調査では、次の2点のいずれにも該当するものを「飛び出し坊や」と定め、集計対象とすることにしました。

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 交通安全、交通事故防止を呼び掛けている看板。</li><li>2. 人(または動物など)の型に切りだしたり、打ち抜いて作成された看板。</li></ol> |
|--|

上記の定義に合致しない看板計12件については、今回の調査では集計対象外としました。

また、同じ場所にある同一の坊やが重複・三重複して報告されているケースがあり、これらについては、原則として先着の報告を優先して扱うものとしました。重複のために、計13件を集計対象外としました。自由報告などの記述があるものの、飛び出し坊や1体につき1件の報告となっていない調査票5件も、数値データの集計対象外としました。

従って、定義に合致しない12件、重複分13件、その他5件を総報告件数の466件から差し引いた436件の飛び出し坊やを、調査票-2の集計対象としました。

## コラム 交通安全だけでない、飛び出し坊やの役割

交通安全を呼び掛けている飛び出し坊やだが、調査を進める中で、交通安全とは少し趣が異なる事象に巡り会うようになった。飛び出し坊やの初期の役割とは別なものが芽生え、広がり初めているように思っていたが、それが確信に変わったのが「出す日と出さない日がある」飛び出し坊やと、琵琶湖に浮かぶ小島で島内には数台の小型貨車しか無い沖島の「漁港に鉢巻き漁師」型の飛び出し坊やの存在を知ってからである。

さりげなく支持棒に設置者名を表し、坊やの表情・姿態・服装などで、当地ならではの顔を創作して置いてあるため、本来の目的に加え、人を招き入れる役割や、ご当地らしさを伝える役割を上手に果たしているように思える。

フィールドレポータースタッフ 津田國史

～こんな「坊や」がありました～

東近江市発：「鈴鹿 10 座」の登山口で、チロルハットにリュックサックを背負い、案内役をはたしている坊や<sup>3</sup>

近江八幡市発：車がほとんど通ることのない沖島港の案内所前に置かれた、捻りはちまき姿の漁師さん型飛び出し坊や

近江八幡市発：丁稚羊羹で有名な老舗店舗前で、ちょんまげ姿の丁稚さんスタイル。交通安全と同時に、お店の目印としての役目も果たしている坊や

## 2. 飛び出し坊やはどんな場所にいるのか？（調査票-2 より）

### 2-1 調査地点

今回報告された飛び出し坊やの設置場所を、図 1 に示しました。県南部、特に大津市、草津市から数多くの報告が寄せられました。大津市、草津市からの報告件数は 436 件中 283 件（約 65%）に上りました。これは大津市を中心に熱心に調査されたレポーターがいらっしやったことにもよります。1 km<sup>2</sup>のメッシュ単位で見ると、最も報告数が多かったのは大津市青山で 1 km<sup>2</sup>あたりに 30 体の報告がありました。

長浜市など、県北部からの報告件数は少数でした。これについては報告件数が少ないのか報告対象の飛び出し坊やそのものが少ないのか、スタッフでも議論になりました。今回の調査だけでは断定することはできませんが、調査票の自由記述欄では、「マキノ町では探しても探してもほとんど見あたりません。」「（高島市安曇川町）下古賀から広瀬を経てここに至るまで 4 kmほどありますが、飛び出し坊やは見かけませんでした。」「（高島市）朽木の町中や集落内にも、飛び出し坊やはほとんど見られません。」「（大津市）北小松の集落内を注意深く見て回りましたが、集落内に飛び出し坊やは見つかりませんでした。」といった報告がありました。探してみても飛び出し坊やが少ない・いない地域もあるようです。「飛び出し注意」の看板は 10 枚ほどありましたが、人形はこれ 1 体だけです。（高島市マキノ町小荒路）」という報告もありました。飛び出し坊やではない、四角い

<sup>3</sup> 2016/5/21 朝日新聞にも掲載がありました。

看板が多く設置されている地域もあるようです。

湖東地域では、彦根市で1km<sup>2</sup>当たり16件、東近江市で1km<sup>2</sup>当たり17件の報告があった地域があります。報告件数は多くはありませんでしたが、比較的高い密度で設置されている地域も有るようです。

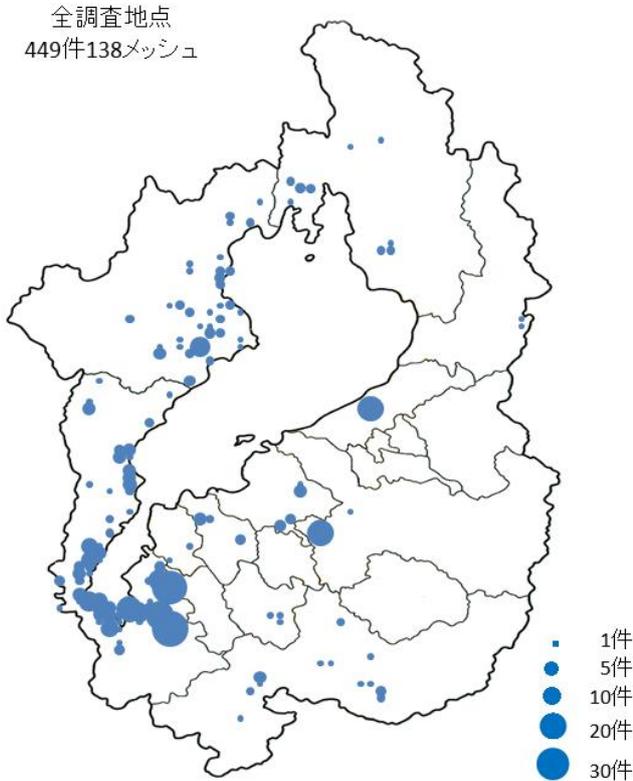


図1 メッシュごとの飛び出し坊やの報告件数

n=449(同一の飛び出し坊やへの重複した報告分を含む)

出所: 調査票-2 設問①

第3次メッシュ(約1km四方毎に区切られたメッシュ)毎に報告件数を集計した。

## 2-2. 飛び出し坊やはどんな所に立っているか？

飛び出し坊やはどんな場所に立っているのでしょうか？

調査した飛び出し坊やのいる場所を、「道路に面した歩道」、「信号のある交差点」、「信号のない交差点」、「民家出入口」、「駐車場出入り口」、「お店の出入り口」、「公園の出入り口」、「その他」からレポーターに選択してもらいました(調査票-2 設問③)。設問を道路中心に設定したため、「その他」の回答が72件ありました。「その他」については、その中で自由記述として多く挙げられた「学校・幼稚園・塾」、「バス停」、「公民館」を新たに分類項目に加えました<sup>4</sup>。

1 番多く報告されたのが信号のない交差点です。写真や地図で確認すると、細い道からやや大きな道に出る交差点といった箇所が多いようです。「交通量の多い信号のある交差点内に飛び出し坊やが居る光景はむしろ珍しい部類に入る。<sup>5</sup>」という回答がありました。すでに信号がある交差点よりも、交通事故の危険を感じるにもかかわらず信号機が設置されていない交差点に、飛び出し坊やが設置されることが多いようです。

<sup>4</sup> 「その他」とされた回答のうち、「その他: マンション入り口」は「民家の入り口」に、「その他: 交差点近くの公園」は「公園の出入り口」に分類した。

<sup>5</sup> 調査票-2、自由記述より。

2 番目に多く報告されたのが、道路に面した歩道です。はっきり歩道の区別された道でなく、歩行者ゾーンの表示もない住宅地内の道路の端といった位置が多いようです。

3 番目に多く報告されたのが、民家出入り口です。玄関口と言うより民家の駐車場からの出口に多いようです。手造りや、市販品で可愛いものがセットされ、個人的に設置されたと思われるものが見られます。

バス停は、高島市、長浜市で回答がありました。スクールバスが停まるバス停に設置されているとの指摘がありました。「その他」には、踏切、高架下、橋の上などの回答がありました。

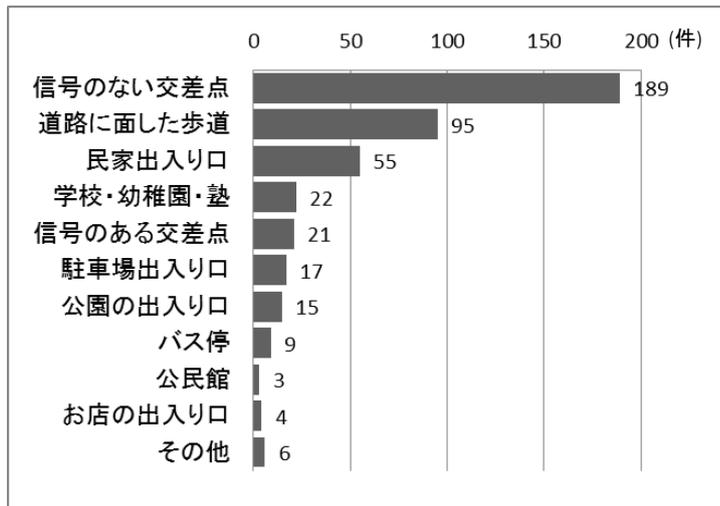


図 2 報告された飛び出し坊やのいる場所  
n=436  
出所: 調査票 2 設問③より作成。

### 2-3. 学校の近くにいる飛び出し坊や

飛び出し坊やは、交通事故防止、とりわけ児童の交通安全にどのように関わっているのでしょうか。飛び出し坊やの近く<sup>6</sup>に学校や施設があるかどうかについて、「幼稚園・保育園」、「小学校」、「中学校」、「その他」の中から複数回答可でレポーターに選択してもらいました(調査票-2、設問⑦)。結果を表 1 に示します。「その他」の中で多数回答があった「高校」については、新たに項目に加えました。

「幼稚園・保育園」、「小学校」、「中学校」、「高校」のいずれかが近くにあるとの回答が、235 件ありました。小学校が一番多く、次に幼稚園・保育園がつづきます。学校付近、特に幼稚園・保育園・小学校を中心に坊やが設置されており、飛び出し坊や設置者の思いが、地域の年少者・児童の交通安全へと向けられていることがわかります。具体的な「その他」の回答としては、JR 駅・電車站、バス停、神社が報告されました。

	報告件数	学校数
幼稚園・保育園	137件	41校
小学校	178件	34校
中学校	105件	9校
高校	28件	5校
その他	53件	

表1 学校等の近くにある飛び出し坊やの報告件数  
n=262  
(総回答数 436 件中、未回答 92 件、「なし」の記述有 82 件)  
出所: 調査票-2 設問⑦

<sup>6</sup> 調査票では、「近く」がどの程度の近さを明確に示していなかったため、調査結果は、レポーターの感覚的な判断によるものとなっています。

## 2-4. 飛び出し坊やはどのように立っているか？

飛び出し坊やがどんな風に立っているのか観察してもらいました。コンクリートブロックなどを基礎にしてしっかり自立しているのもあれば、フェンスなどに支えられている場合もあります。坊やの立ち場所を、「自立」、「電柱」、「他の標識」、「フェンス」、「植込み」、「その他」から、レポーターに選択してもらいました(図 3)。「その他」の中で具体的な内容として多く挙げられた「ガードレール」「カーブミラー」「街路灯」については、新たに分類項目に加えました。

約 59%(436 件中 256 件)の飛び出し坊やが自立していました。それ以外の立ち方としては、回答の多い順に、フェンス(64 件)、標識(29 件)、ガードレール(23 件)、カーブミラー(9 件)、植込み(9 件)、街灯(4 件)となりました(その他 20 件)。「自立しながらも針金でフェンスに転倒防止」といった回答に見られるように、コンクリートブロックなどの基礎と支持ポールで坊やが自立しているものの、付近のガードレールや電柱などにワイヤーなどで結びつけられている事例が多数見られました。

## 2-5. 飛び出し坊やはどのくらいの高さにあるか？

飛び出し坊やの目のあたりまでの高さが地面からどれくらいの位置にあるかを、レポーターに回答してもらいました(調査票-2 設問⑤、図 3)。

100cm~300cmまでの高さに設置された飛び出し坊やが 303 件となっており、総数の約 76%でした。調査された飛び出し坊やの多くが、車両運転者に認識されやすい高さで設置されているようです。特に、100cm 以上 120cm 未満が 83 件、120cm 以上 140cm 未満が 93 件と多く見られ、子供の背丈くらいの高さに設置されている飛び出し坊やが多いと言えるでしょう。一方で、車両からの見通しの悪い場所に 100cm 以下の高さで置かれ、最初から幼児・児童を意識したと思われる飛び出し坊やもありました。

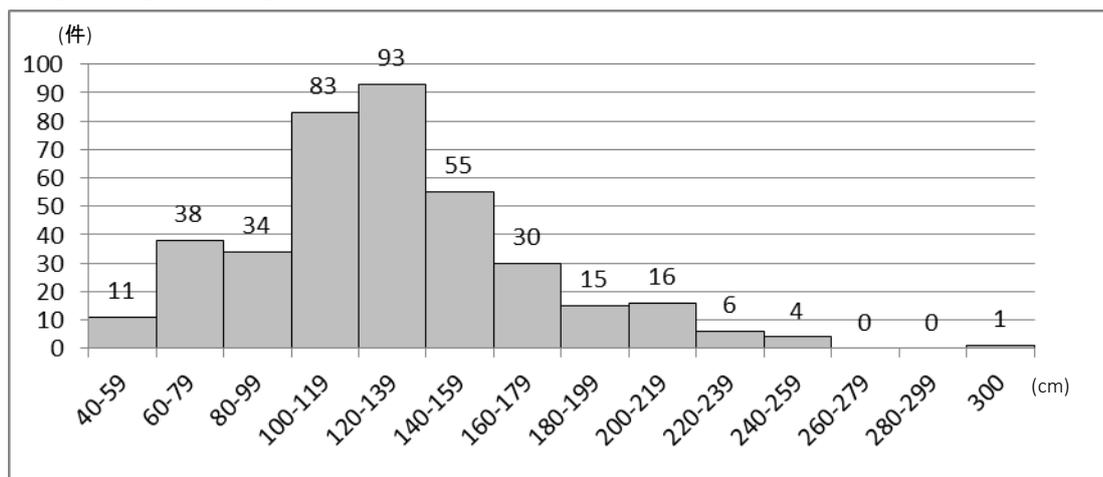


図 3 飛び出し坊やの高さ別の報告件数

n=386(436 件中未回答 50 件)

出所: 調査票-2 設問⑤

### 3. どんな飛び出し坊やがいるのか？（調査票-2 より）

#### 3-1. 飛び出し坊やは手作りか？既製品か？

調査した飛び出し坊やが、「手作り」、「既製品（市販）」、「その他」のどれにあたるかを、レポーターに回答して頂きました（調査票-2、設問②-2）。実際に調査を開始してみると、既製品か、手作りか、判別しにくいものが多く存在していました。例えば、手作りであるようにも思われるが非常に上手に作ってあり判別が難しいもの、オリジナルのデザインを看板製作業者に依頼して作成した特注品などがあり、「手作り」か「既製品（市販）」かの識別が困難なものがありました。実際、同じ形の飛び出し坊やでも、レポーターによって判断が異なる事例が多く見られました。

そこで、今回の調査では、プロである看板製作業者が作ったか、地域の人たちが作ったかに重きを置き、既製品と手作りを下記の通りとして考えることとしました。

既製品：メーカーによる販売品で、量産されているもの。設置者名が特記されたものも含む。

手作り：個人や団体が販売ではなく設置を目的として作成したもの。型を購入して、彩色だけを行ったものも含む。

その他：地域の個人や団体が、オリジナルデザインを業者に特別注文して作成したもの。判別が困難だったものを含む。

報告された写真やスケッチをスタッフが精査し、改めて分類した結果が図 4 です。手作り品では、顔立ちなどが 1 点 1 点違う飛び出し坊やが多く見られます。「ベニヤ製で、胸にカエルが描かれています。“無事にカエル”の願いがこもっているのでしょう。’<sup>7</sup>”といった回答にあるように、独自のデザインのものも見られます。

今回調査された飛び出し坊やでは、約 67%（436 件中 293 件）が既製品という結果になりました。既製品、手作り、その他に分けて、それぞれの設置場所を示したのが図 5、図 6、図 7 です。図ではわかりにくいですが、今回調査された中では、大原小・油日小・新旭南小の学区では手作りの飛び出し坊やが多く、一方、青山小・瀬田北小の学区では既製品の飛び出し坊やが多く見られました。玉川小・草津第二小では既製品と手作りの両方が見られました。既製品が多いか手作りが多いかには、地域差があるようです。

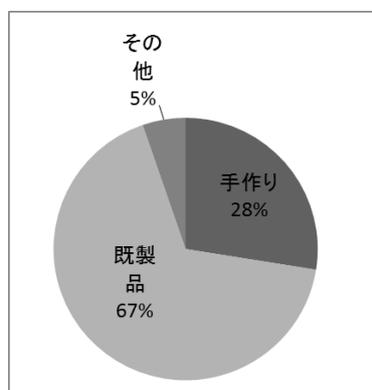


図 4 手作り・既製品の割合

n=436

出所：調査票-2、設問②-2 より作成。

<sup>7</sup> 調査票-2、自由記述欄より。

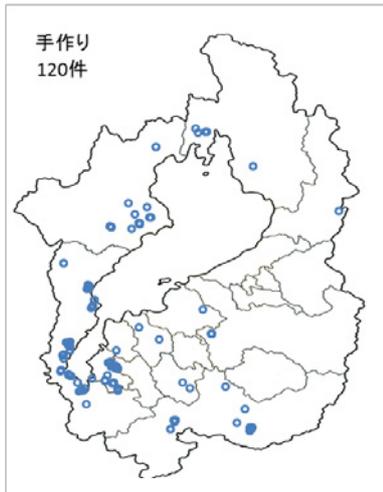


図5 「手作りの」  
飛び出し坊やの設置場所  
出所：調査票-2 設問①、②

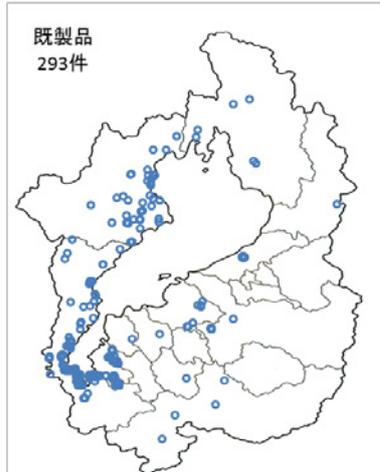


図6 「既製品」の  
飛び出し坊やの設置場所  
出所：調査票-2 設問①、②

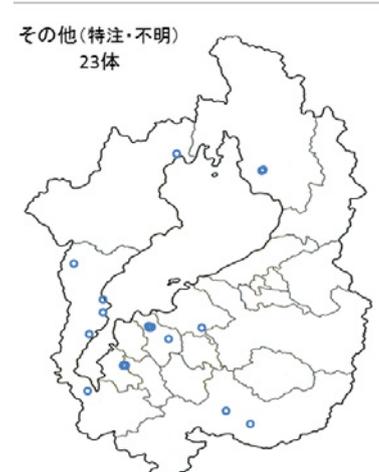


図7 「その他」の  
飛び出し坊やの設置場所  
出所：調査票-2 設問①、②

### 3-2 どんな形の飛び出し坊やがいるのか？

#### (1) 調査票-2 における飛び出し坊やの分類

代表的な飛び出し坊やのタイプを分類した参考資料に基づき(参考資料および図9参照)、調査した飛び出し坊やの形によく似た番号を報告してもらいました。調査票を見ると、表と裏でポーズが異なる飛び出し坊やがいるなど、判別が難しい事例も多く、同じ形の飛び出し坊やが回答によって異なる番号に分類されてしまうといった混乱が見られました。そこで、調査票に添付された写真に基いて、スタッフが回答を精査し再度分類を行いました。その際、「その他」の回答の中で数多く見られた3タイプを分類項目に加えました。

調査された飛び出し坊やのタイプごとの件数を図8に示します<sup>8</sup>。

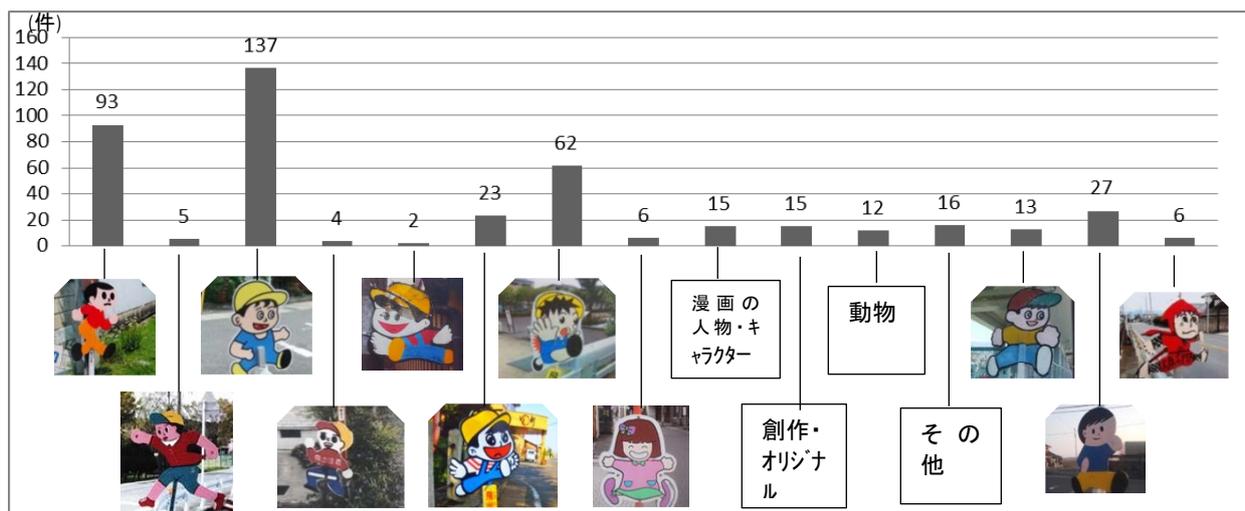


図8 飛び出し坊やのタイプごとの報告件数  
n=436 出所：調査票-2 設問②-2 および添付写真

<sup>8</sup> 参考資料⑤に分類された飛び出し坊やの報告数は0でした。

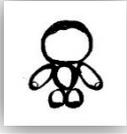
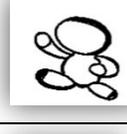
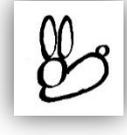
## (2) ポーズに着目した飛び出し坊やの分類

集まった調査票-2 と写真からは、飛び出し坊やが実に多種多様な形をしていることが改めて見えてきました。今回の調査票-2 では、事前調査から作成した分類に基づいて坊やのタイプ分けを行いました(図 8)、改めて、もっとわかりやすい分類ができるのではないかとスタッフで検討しました。

同じ形の既製品の飛び出し坊やがたくさんある一方で、一体一体異なる手作りの飛び出し坊やもたくさんいます。違う形をそれぞれ分けて分類すると、とても煩雑になってしまいます。集まった飛び出し坊やの形をもとに、検討した結果、飛び出し坊やのポーズ、特に手の動き・足の動きに着目することで、分類することができるのではないかと考えました。具体的には、表 2 に示すように、止まっているもの(表 2、A)、片手をあげて道路を横断しようとしているもの(表 2、B)、走っているポーズのもの(表 2、C)、勢いよく飛び出しているもの(表 2、D)、飛び出してしまう車が止まってくれるよう手のひらを前に出しているもの(表 2、E)に分けることとしました。人以外の動物やキャラクターの場合、手足の動きで分類することが難しいため、これについては別に分類しました(表 2、F、G。)。この中でも、いわゆる「ご当地キャラクター」(表 2、G)と、それ以外の一般的な動物やキャラクター(表 2、F)とは分けて扱うこととしました。

調査票-2 で写真をお送りいただいた飛び出し坊やを、スタッフがこの分類で分けた結果が図 9 です。また、それぞれの設置場所を図 10 に示します。

表2 ポーズに着目した飛び出し坊やの分類

	番号	範例	ポーズの解説	具体例および 図8における分類との対応
人の形	A		止まっている。 ・顔が前を向いている。 ・両足がそろっている。	
	B		道路を横断しようとしている。 ・片手が上がり、反対の手が軽く曲がっている。	
	C		走っている。 ・両手が前後に大きく振られ、前の手の握り拳は上向き。	
	D		勢いよく飛び出している。 ・両手両足が大きく広がっている。 左右に手を広げ、バンザイのように見えるものも含む。	
	E		車が止まってくれるよう手のひらを前に出している。 ・片手または両手の手のひらを大きく前に出す。	
動物など(人以外)の形	F		動物など人以外のもので、Gに分類される「ご当地キャラクター」に当てはまらないもの。	
	G		動物など人以外の物で、かつ、地域のご当地キャラクターと言えるもの。	

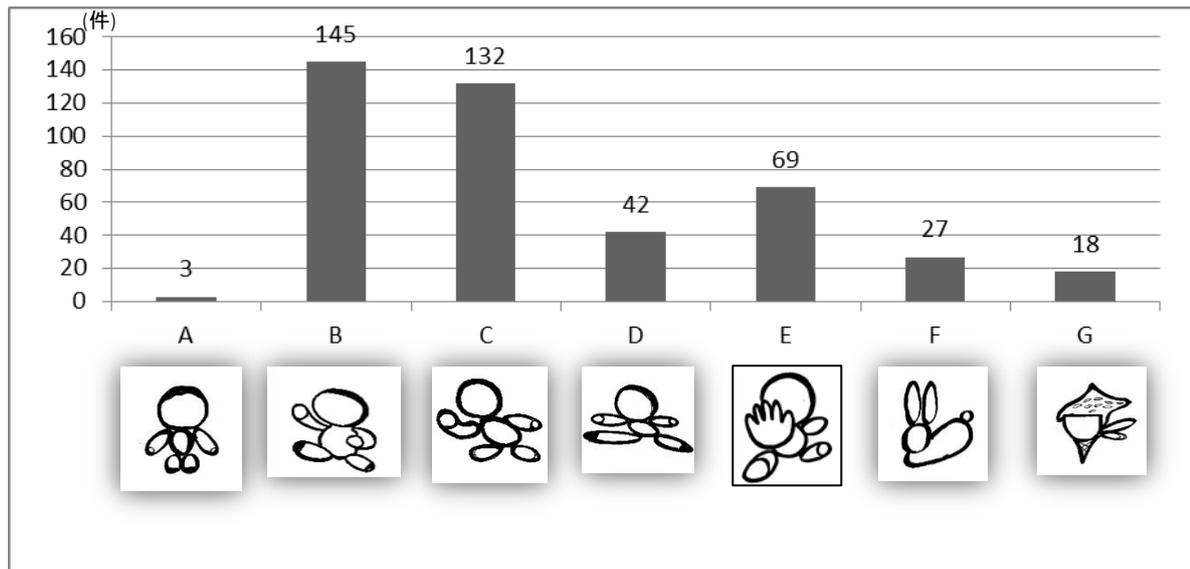


図9 飛び出し坊やのタイプごとの報告件数(ポーズに着目した分類による)

n=436 出所:調査票-2 設問②-2 および添付写真

一番多く報告された B には、大津市安全協会が採用し地域に配布しているタイプが含まれます。今回の調査では大津市街の件数が多かったために、件数が多くなっています。設置場所を見ても、大津市に数多く見られることが分かります(図 11、B)。二番目に多く報告された C は、県下全域で広くみられます(図 11、C)。次いで多く報告された E は、琵琶湖西岸に比較的多く見られるようです(図 11、E)。ご当地キャラクターでは、甲賀市では忍者 7 件、草津市では「しぶはなちゃん」(草津市渋川学区まちづくり協議会のキャラクター)6 件の報告があり、地域色がよく出た結果となりました。

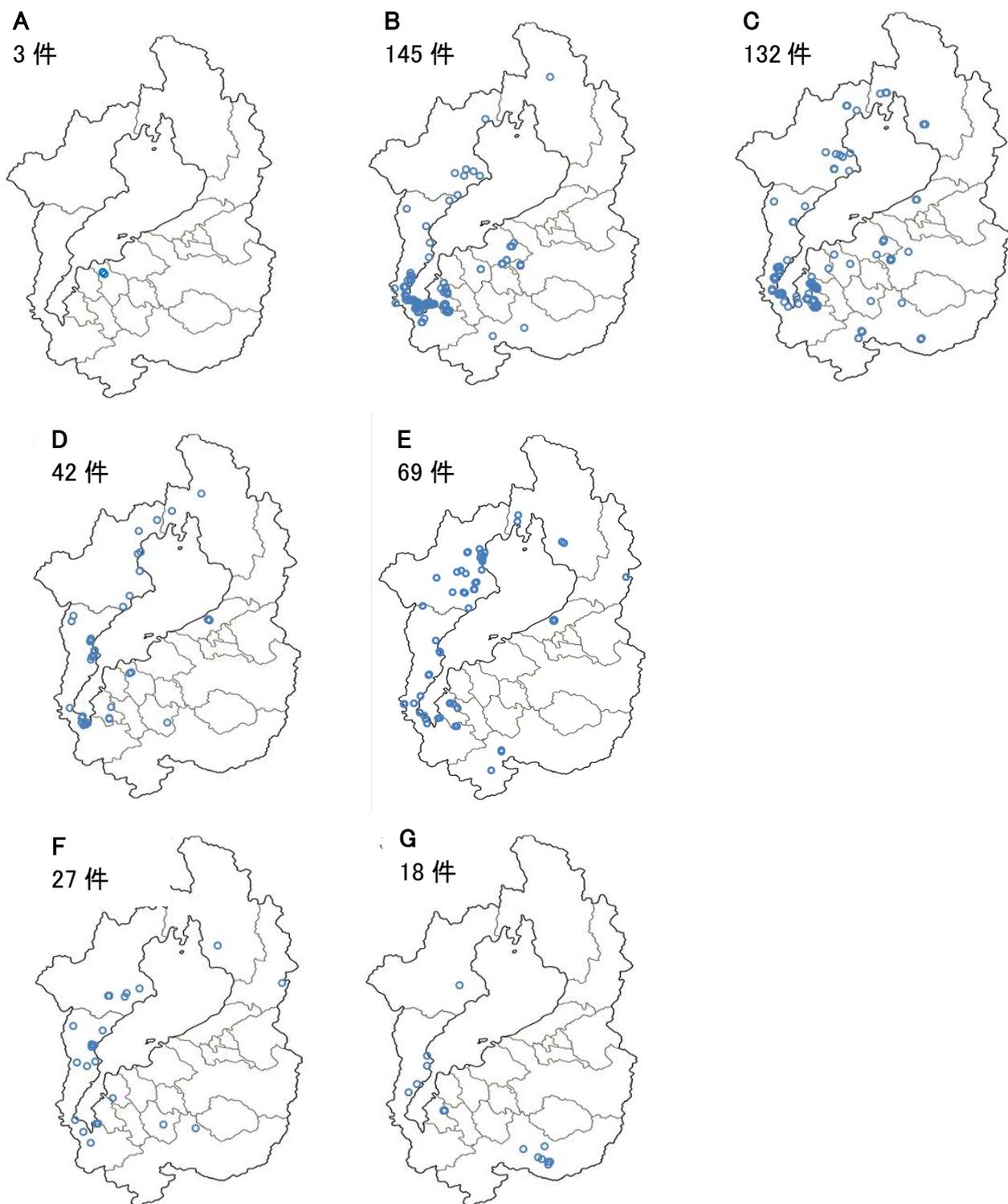


図 10 飛び出し坊やのタイプごとの設置場所(ポーズに着目した分類による)  
 n=436 出所:調査票-2 設問①、②-2 および添付写真に基いて作成。

### 3-4 飛び出し坊やは壊れたり汚れたりしていないか？

雨風にさらされながらも道端に立ち続ける飛び出し坊やは、ケガなどしていないでしょうか？「手のケガ」、「足のケガ」、「顔のケガ」、「汚れ」、「色あせ」、「落書き」、「ポールが折れている」、「その他」の中から、複数回答可で選択して頂きました。選択肢に、「異常なし」の項目を入れなかったという調査票の作成ミスがあり、「その他」や未回答のうち、「きれい」「汚れなし」「良好」「新しく明るく元気」等のコメントがあったものについては、「きれい」に分類しました。

何らかの異常が確認された飛び出し坊やは全体の約 32% (436 件中 138 件) に当たります。一方、「きれい」等のコメントがあった飛び出し坊やは、全体の約 48% (436 件中 208 件) でした。(未回答の約 21% (436 件中 90 件) の中でも、きれいで異常のないものが多数含まれているものと考えられます。

具体的なケガの内容について、寄せられた件数(複数回答可)を図 12 に示します。一番多く見られたのは色あせ(82件)で、次が汚れ(57件)でした。風雨にさらされ続ける飛び出し坊やの宿命でしょうか。一方、「ケガ」つまり破損については、顔のケガ(15件)、足のケガ(14件)、手のケガ(11件)の順に多く見られました。落書きは0件で、いたづらをされている坊やは報告されませんでした。

スタッフが調査した事例では、やぶれた部分を、ガムテープで補修してある飛び出し坊やや、頭が取れてしまった飛び出し坊やを発見後、観察していたら、その数日後に坊やが撤去された、という事例がありました。ただ設置されているだけではなく、設置後も管理する人や地域の方に見守られ続けているようです。

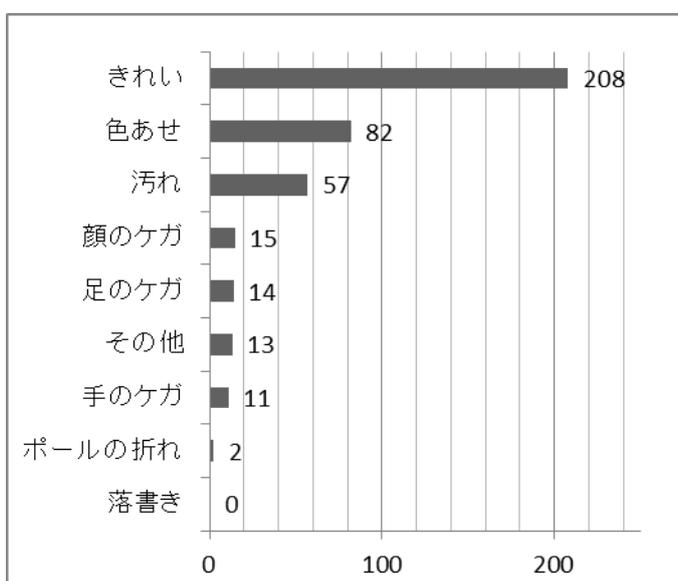


図 11 飛び出し坊やの破損・汚れの状況  
n=346 (436 件中未回答 90 件を除く)  
出所: 調査票-2、設問⑥

## 4. 飛び出し坊やは誰が設置しているか？(調査票-2 より)

### 4-1. 飛び出し坊やに書かれた設置者名

飛び出し坊やの体やポールには、設置者名が書かれていることが多くあります。そこで、ポールや飛び出し坊やに設置者名等が書かれている場合は、それを調査票に回答いただきました(調査票-2、設問⑧-1)。また、書かれていなくてもご存知の場合はご記入いただくこととしました(調査

票-2、設問⑧-2)。設置者名がポールや飛び出し坊やに表示されていたと回答があったのは、全体の約 50% (436 件中 219 件) でした。具体的に挙げられた回答を、表 3 に示します。

設置者名が明記されたもののうち約 47% (219 件中 102 件) には学校名が入っており、県内各地に広がっていました。PTA 活動として位置づけられていることが推察されます。

交通安全協会の名前が記されたものは、ほとんどが大津市からの報告 (49 件) でした。社会福祉協議会の名前が記されたものは、湖東 (旧八日市市) と湖北 (旧びわ町) で見られました。

自治会等の名が入ったものは、件数は多くはないものの、県下に広く散らばって見られました。自治連合会や〇〇協議会という上部組織から、各自治会や区会、そして集合住宅の管理組合の小さな組織までが設置者として書かれていることが分かります。

表3 飛び出し坊や本体や支柱に表示されていた設置者名

出所:調査票-2、設問⑧

		本体や支柱に表示されていた設置者名	件数		本体や支柱に表示されていた設置者名	件数	
学校関係 (23校 102件)	大津市	北小PTA	24	自治会等 (29件)	草津市大路区まちづくり協議会	1	
		晴嵐小学校	1		渋川学区まちづくり協議会	5	
		晴嵐小学校 寄贈・長岡制作所	1		渋川学区交通安全会	2	
		長等	1		南笠東学区地域安全連絡協議会	1	
		富士見小PTA	1		自治連合会 大津交通安全協会	1	
		坂本小学校	1		笠縫東学区自治会	3	
		真野中学校 少年補導委員会	1		笠縫東学区自治連合会	3	
		青小	2		上丹生自治会	1	
		青山小学校PTA	17		吉地自治会	1	
		南郷幼稚園PTA	1		拝戸区自治会	1	
		和邇小学校PTA南浜	1		藤江区	1	
		草津市	笠小PTA		2	西河原自治会	3
	玉川小学校PTA		13		自治会(大津市真野大野?)	1	
	草津第2小学校PTA 草津第2小学校PTA、オムロン労働組合草津支部		19 1		ルネ大津自治会	1	
	湖南市	三雲小学校小PTA	1		グリーンハイツ南	1	
		油日小学校PTA	3		シャルマンコーポ草津野村管理組合	1	
	甲賀市	甲南第一小学校PTA	1		げげハイツ	2	
		大原小学校PTA	1		子供会 (2件)	大浦子供会 中屋子供会	1 1
	近江八幡市	馬淵小・幼PTA	2		企業等 (16件)	寄贈 大津パルコ	3
		西小PTA	2			大津製紙(株)	1
	東近江市	八西小PTA、東近江地区交通安全協会	1			真野自動車教習所	1
		箕作小学校PTA	1			オムロン労組	9
	彦根市	城陽小PTA	1		地域クボタ会	1	
新旭南小学校PTA		2	東近江市JC	1			
高島市	あやめ子育てセンター オムロン労働組合草津支部	1	団体 (7件)	大津東ロータリークラブ	3		
	野洲市	1		知ったかぶりカイツブリ委員会 協賛ビーエスウェルディング	2		
交通安全協会 (54件)	大津交通安全協会	39		一隅を照らす会 善應寺支部	2		
	大津交通安全協会〇〇支部	10					
	東近江市社会福祉協議会交通安全協会	4					
	交通安全協会 野洲支部	1					
社会福祉協議会 (6件)	八日市市社会福祉協議会	1					
	東近江市社会福祉協議会	3					
	びわ福祉の会	2					
行政 (3件)	野洲市	1					
	甲賀市セーフコミュニティ交通安全対策委員会	1					
	今津町教育委員会・今津小PTA	1					

## 5. 滋賀県で飛び出し坊やはどう認識されているか？(調査票-1より)

### 5-1. 回答者の属性

飛び出し坊やにまつわる個人の認識、経験・体験などについて回答して頂く調査票-1 は計 40 件の調査結果が集まりました。全 40 人の回答者の住所を県内市町別に集計したのが表 4 です。大津市、草津市からの報告が多く全体の約 58%を占めました。

回答者の年代別割合を図 12 に示します。60 歳以上の回答者が約 66%を占めました。9 歳以下のお子様は 2 人、10 代、20 代はゼロでした。

回答者 40 名中 32 名が自動車の運転をすると答えました(表 5)。また、運転すると答えた人のうち 30 人が、週 1 回以上運転していると答えました。今回の調査の回答者は、普段自動車を運転される方が多くを占め、年齢と合わせると高齢者ドライバーが多いとも言えます。

表 4 回答者の住所

出所: 調査票-1

市町村名	報告件数
大津市	14
草津市	9
甲賀市	3
高島市	3
東近江市	3
守山市	3
野洲市	2
長浜市	1
近江八幡市	1
米原市	1
	計40件

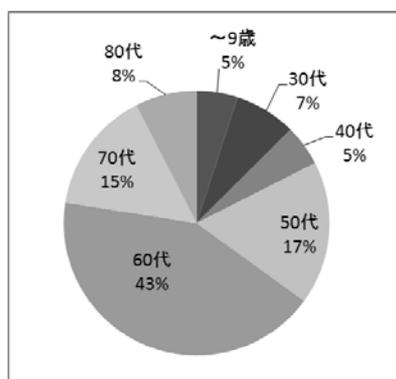


図 12 回答者の年齢 n=40

出所: 調査票-1、設問③

表 5 回答者中の運転者の割合および運転者の運転の頻度

n=40 出所: 調査票-1、設問④

運転する/しない	件数
運連する	32
運連しない	8

運転する人の運転の頻度	件数
週4回以上	21
週1~3回	9
週1回未満	1
未回答	1

### 5-2. 飛び出し坊やはどう認識されているか

#### (1) 飛び出し坊やの認知

飛び出し坊やについて「知っていましたか」という質問では 40 人中 38 人の方が知っているという回答でした。滋賀県下の調査であり、また、飛び出し坊やに興味を持った方からの回答が多いと考えられますが、いいえと答えられた方も 2 名いらっしゃり、この 2 人は小学生でした(図 13)。

飛び出し坊やについて「実物を見ましたか」という質問では 40 名中 40 人が「はい」と回答し「い

いえ」と答えた方は 0 人でした(図 14)。

飛び出し坊やの発祥について、mahorova の HP<sup>9</sup>には下記のような記述があり、「確証はないものの滋賀県が発祥の地という説が濃厚」とのことです。

「同(引用者注:旧八日市市・現東近江市)社会福祉協議会から相談を受けた、看板製作業の久田工芸さんが啓発資材の製作を請け負うこととなり、代表者久田泰平さんの手によって、「坊や」が飛び出す様子をかたどった「飛び出し注意」を促す合板製看板、いわゆる「飛び出し人形＝飛び出し坊や」が考案されました。昭和 48 年(1973 年)のことだそうです。」(mahorova、「とびたくん誕生秘話」より引用。)

これに基づいて「飛び出し坊やの発祥の地が滋賀県であることを知っていますか」と聞いたところ、は、40 名中 27 人が「知っている」、13 人が「知らない」と答えました(図 15)。

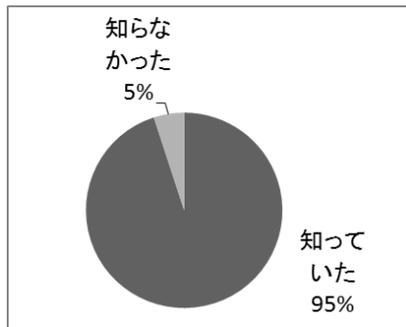


図 13 飛び出し坊やを知っていたか  
n=40 出所:調査票-1、①-1

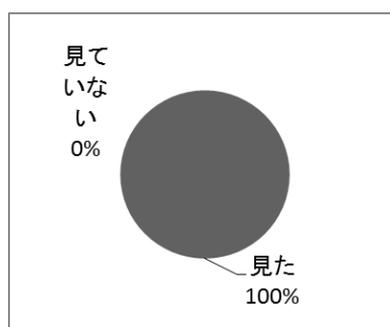


図 14 飛び出し坊やを見たか  
n=40 出所:調査票-1、①-2

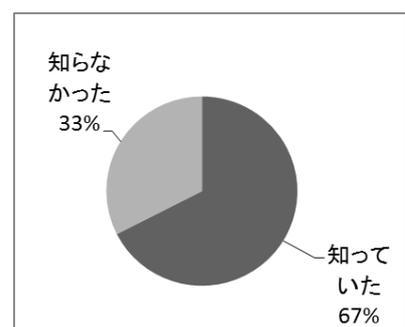


図 15 滋賀発祥と知っていたか  
n=40 出所:調査票-1、①-3

## (2)飛び出し坊やの呼び方

飛び出し坊やについて「何と呼んでいましたか」という設問で自由記述をしていただいたところ 32 名から回答がありました。今回の調査では「飛び出し坊や」という名称を使っているため、それに引きずられた回答になっている可能性があります。「とびだしぼうや<sup>10</sup>」という回答が 23 件寄せられました。それ以外の呼び方として「とびだし看板」、「とびだし注意標識」と言った、人ではなくて看板・標識としての呼び名もありました。デザインも「坊や」だけには限らず、「ぼくとおばあちゃん」という回答もありました。

中には、「おきちゃん」「ロクちゃん」「ハマちゃん」「シンちゃん」と言った具合に飛び出し坊やを個体識別して名前と呼んでいるという回答もありました。自由記述欄からご紹介します。「私はこの坊やに特別な思いがあるのです。なぜなら、我が家の東前方約 20m のところに立っていて、道に出れば必ず目が合うのです。あの丸い大きな黒い目は、どんな思いで私たちを見つめて、何を願っているのか？雪が降ろうが、雨が降ろうが、寒かろうが、暑かろうが、何一つ不平不満も言わない。そんな坊やに私は自然に頭が下がり、早朝必ず挨拶に行き言葉をかける。”オキちゃん、今日もよろしくネ”と。」こんなにも地域の方に愛されている飛び出し坊やもいるのですね。

<sup>9</sup> mahorova、とびたくん誕生秘話、<http://www.mahorova.com/works/tobidashikun> (最終閲覧日 2017 年 2 月 4 日); ひがしおうみ社協だより第 36 号(2011 年 3 月 5 日)、「飛び出し人形」誕生秘話

<sup>10</sup>漢字(“飛”“出”“坊”)を使ったもの、使われなかったものを含めています。

#### (4)飛び出し坊やの設置目的に関する認識

スタッフの話し合いで、飛び出し坊やは「車道に出る子供が車が来ないか安全を確認するため」にあるのか、「走行する車が脇道から子供が出てくるのを注意するため」にあるのか、意見が分かれました。そこでレポーターの皆さんに上記のどちらだと考えるのか、回答してもらいました。結果を見ると、回答者 39 名中 34 人が運転者の注意喚起の対象であると答えました(図 16)。回答者の多くが普段自動車を運転する人であったことも関係しているかと思えます。自由記述欄には、「車の運転をする際、細い又は見通しの悪い道の出口に設置されていると大変役に立つ。」という声もありました。

運転しない人 9 名(10 名中未回答 1 件)では、7 名が運転者目線、2 名が子供目線という回答結果でした。このうち、子供目線の回答を寄せた 2 名は小学生でした。今回の調査に参加したレポーターの多くが、「飛び出し坊や」のことを「運転者への安全喚起」を促す存在として認識しているという結果でしたが、同時に、子供自身も「子供への注意喚起」の意味を認識しているようです。

具体的な設置理由に関して、「飛び出し坊やがあなたの町内に設置された理由が分かれば教えてください」という設問でお答えいただきました。「地区内に学校があるから」、「事故があったから」、「PTA 活動が盛んだから」、「地域の自治会が積極的だから」、「その他」の選択肢を設け(複数回答可)、その他には具体的に記述してもらいました。未回答が 13 件あり、設置理由は、必ずしも町内で認識されているという訳ではないのかもしれませんが。回答を見ると、多い順に、学校があること(15 人)、自治会が積極的なこと(12 人)が上がりました(図 17)。

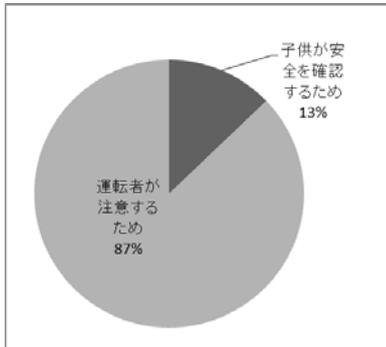


図 16 飛び出し坊やの設置目的への認識

n=39(未回答 1 件)

出所:調査票-1、設問⑤

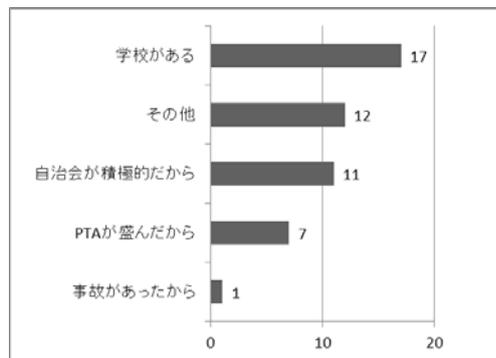


図 17 町内の飛び出し坊やの設置理由

n=27(未回答 13 件)、複数回答可

出所:調査票-1、設問⑧

#### (5)飛び出し坊やの交通安全への貢献に対する認識

次に、飛び出し坊やは交通安全に貢献していると思うかどうかについて、「はい」「いいえ」「どちらでもない」でレポーターに選択して頂きました。40 人中 29 人が交通安全に貢献していると答えてもらった反面、11 人(27%)のひとが、どちらとも言えないと答えました。ただし、貢献していないと答えた回答者はゼロでした。なにがしかの活躍貢献が認められていると言えるでしょうか。

なお、「S 小学校は学校近くに住宅地が増え、児童数も急増している。多数の児童が信号のある交差点を二度渡らなければならない。交通安全の必要性が高く、坊やが増えるのが望ましいと思

う。<sup>11)</sup>」といったレポーターからのコメントもありました。

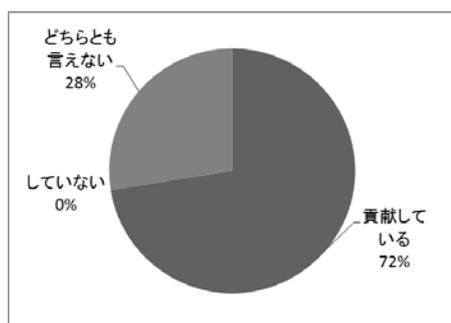


図 18 飛び出し坊やは交通安全に  
貢献していると思うか  
n=40 出所:調査票-1、設問⑥

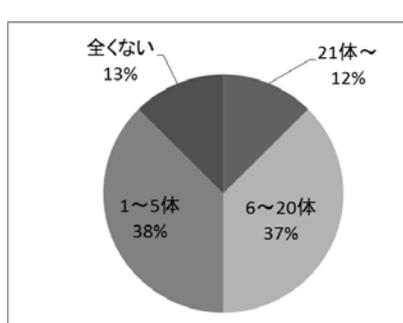


図 19 町内の設置数  
n=40  
出所:調査-1、設問⑦

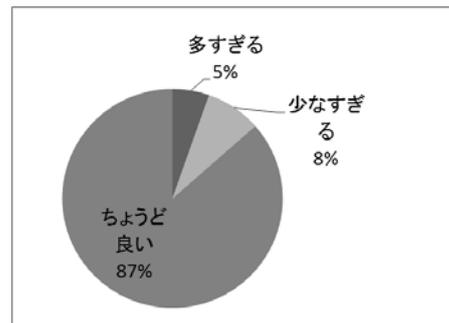


図 20 飛び出し坊やの設置数  
への認識  
n=37(未回答3件)  
出所:調査票-1、設問⑨

### (6) 飛び出し坊やの設置数とそれに対する認識

「あなたの町内に設置されている数はどれくらいですか」という設問に対し、「とても多い(21 体以上)」、「多い(6~20 体)」、「少ない(1~5 体)」、「全くない」のいずれかで回答して頂きました。調査票では「町内」の枠を明確にしていなかったため、各自が自治会や小学校区を想定して判断された回答が寄せられたものと考えられます。「とても多い(5 人)」「多い(15 人)」を併せて 50%となりました。反対に「少ない(15 人)」「全くない(5 人)」も併せて 50%で、多いところと、少ないところがそれぞれ同数となる結果でした(図 19)。

「飛び出し坊やの設置数についてどのように考えていますか」という設問では、「多すぎる」、「少なすぎる」、「ちょうどよい」から選択して頂きました。すると、「ちょうどよい」との回答が 37 人中 32 人と全体の約 87%を占めました(図 21)。前項で述べた町内の設置数(調査票-1、設問⑦)と併せた結果が表 6 です。質問⑦で、ご自分の町内の設置数を多いと答えた人、少ないと答えた人のどちらからも、「ちょうどよい」という回答が寄せられたことが注目されます。

飛び出し坊やは、その地域の人の総意や合意の中で程よく設置されており、多いところは多いなり、少ないところもそれなりに、地域の人に受け入れられていると言えるのかもしれませんが。

表 6 飛び出し坊やの町内の設置数と認識

出所:調査票-1、設問⑦および設問⑨ n=37(未回答3件)

	多すぎる	ちょうどよい	少なすぎる
全くない(0体)	0	1	2
少ない(1-5体)	1	12	1
多い(6-20体)	0	15	0
とても多い(21体以上)	1	4	0

<sup>11)</sup> 調査票-2 の自由記述より。

### (7)飛び出し坊やの設置に関するレポーターの経験

「あなたのご町内では(飛び出し坊やを)どこが設置していますか」という設問では、「教育委員会」、「自治会」、「町内会」、「社会福祉協議会」、「交通安全協会」、「老人会」、「PTA」、「地元の事業所」、「その他」の中から複数選択可で回答いただきました。未回答は12件ありました。

一番多かったのは自治会、次いでPTAでした。「その他」の回答の中には、「個人宅で」、「学区のまちづくり協議会」といった回答がありました。

レポーターご自身に「飛び出し坊やの設置にかかわったことがあるか」を聞いた設問では、40件中、あると回答した方が7件、ないと回答された方が33件でした。ないと答えた方の中にも、具体的な情報を記述して下さった方がいました。具体的な事例を、下記に紹介します。こうした地域の方の取り組みの中で、飛び出し坊やが設置されていることを改めて感じます。

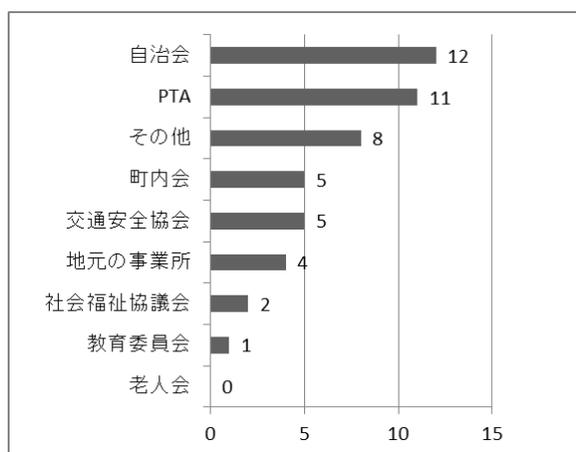


図 21 回答者の町内における飛び出し坊やの設置者  
n=28(未回答12件) 複数回答可  
出所:調査票-1、設問⑩

- ・4年前に自治会長をしていたため、自治会の役員と共に設置した。
- ・野洲市に合併前の旧中主町の時代、N区の区長を平成12年から4年間努めた。N区は住宅地の開発で人口急増地区となり、子どもが多い。交通弱者である高齢者と子供を交通事故から守るため、また、保育園・幼稚園・小学校があり、他の地区にないデザインを考え、子どもや役員設置場所を検討のうえ、N区内に配置した。
- ・地域の交通安全協会の依頼で、こどもたちと一緒に飛び出し坊や看板や交通安全看板を制作しました。地域内には市販品の飛び出し坊やも有りますが、手作りの飛び出し坊や(看板?)がたくさん有ります。
- ・子ども「安全リーダー」に5年前選任されて以来、作成・日常メンテナンスを実施している。O学区子ども安全リーダー、おうみ交通アドバイザー、交通安全協会O支部、O学区自主防犯推進協議会の各メンバーで実施している。
- ・とび出し坊やの設置数は極めて少ない町内ですが、黄色シールで「止まれ」の足形をつけるPTA活動が一斉にあり町内の細い道から広い道に出るところにはほとんど刷り込まれている。
- ・自治会の行事(年度初め)で設置、補修、塗り替えを行い、ほとんどスムーズに更新され、新年度はキレイになった坊やたちに出会えます。設置のしぼり方等は、最近では荷づくりの丈夫な(プラスチック?)方法で強固に固定されて、倒れることもなくなったが、車に接触し破損が他

の地区で見られる。

## 6. おわりに

### 6-1 ひとこと

報告された飛び出し坊やの数 436 件は当初の想定以上のものでした。設問数も多く回答記入時に戸惑われ難儀された様子が全体を通して痛感させられ申し訳なく思っていますが、それでもコメントや追記を添えていただいた各報告のおかげで、滋賀県の実態の一面が垣間見えて、映像に頼らなくても十分な報告ができたと思います。

調査にご参加いただいたフィールドレポーターの皆様、様々な情報提供にご協力くださった皆様に、御礼を申し上げます。

### 6-2 感想

今回の調査では、既にレポーターの皆さんも感じていらしたことと思いますが、飛び出し坊やが数多く設置されていて、その形も多様であることが具体的に分かってきました。もともとは子供の交通安全を目的に作られた飛び出し坊やですが、現在では、その対象者が広がり、子供だけでなく大人、特に高齢の通行者に対する注意を促すものも現れました。甲賀市に忍者の飛び出し坊やがたくさん見られるように、各所で地域性豊かな飛び出し坊やが登場しており、その地域、交通環境に沿った姿のものが選択設置されることもあるようです。今後も多様な姿が見られるかもしれません。

飛び出し坊やを支える個々の地域組織、団体が多岐にわたっていることも分かりました。設置者ごとに、何の為に、何処に設置するかを考える中で、手作りになったり、既製品になったり、姿やポーズの選択があると言えるでしょう。設置する団体の多様さが、飛び出し坊やの姿の多様さにも繋がっていると言えそうです。

調査表-1の項目で飛び出し坊やの数を聞いたところ、設置数の多いところも少ないところもほとんどすべてが「ちょうど良い」という答えで返ってきました。自分たちの住む地域で、危険な個所が認識され、そうした場所に飛び出し坊やが設置されていると言えるのではないのでしょうか。飛び出し坊やは、その地域の人々の意見を反映しながら程よく設置されており、多いところは多いなり、少ないところもそれなりに受け入れられているようです。飛び出し坊やは、滋賀県下では、在ってあたり前、居てあたり前で、住民の一部といった感覚で受け入れられているように、私には思えません。

フィールドレポータースタッフ 中野敬二

フィールドレポーター 2016 年度第1回調査

## 「飛び出し坊やを調べよう」 調査ご案内

皆さんの街でおなじみの飛び出し坊やが今回レポートの対象です。

交通戦争なんて言葉があり、児童の事故をなんとか減らそうといろいろな活動が展開されていた昭和 48 年 6 月、飛び出し坊やは私たちの滋賀県で産声をあげました。

私たちには馴染みの飛び出し坊やの姿ですが、他県では珍しいと、今関心が高まっているという情報もあります。どうやら飛び出し坊やは全国に飛び出そうとしているようです。

そこで、出生地の滋賀県の今を調査したいと思います。

この 40 数年間、交通事故減少のため活躍してきた飛び出し坊やは、時代を経て兄弟姉妹や、ゆかいな仲間を増やし、今では地域、共同体の連携や活性化といった別の側面でも力を発揮しているように思えます。どうやら地域差や地域の独自性もあるようです。

もちろん、本来の交通安全の精神にも磨きがかかっているはずで、新しいアイデアを駆使してその存在をアピールしていると信じます。

飛び出し坊やが社会とどのように関わっているのかわかればとても有意義な調査になります。レポーターの皆さんの地元では、どんな姿でどのように社会貢献をしているのでしょうか？

調査期間は

**平成 28 年 4 月～6 月**

と致します。

まずはご近所調査をお願いします。近所の皆さんと気楽に話し合っ、生の声を聞いていただき、飛び出し坊やの成長ぶりをレポートしていただきますようお願いいたします。

尚、すでに、東近江市能登川博物館では平成 25 年度企画展で「飛び出し坊やとゆかいな仲間たち」を実施されております。今回の調査ではその経験を生かすべく、共同調査という形を採らせて頂くことになっています。

平成 28 年 4 月 2 日

フィールドレポーター 2016年度第1回調査

「飛び出し坊やを調べよう」

「調査票-1」

あなたのご町内の状況把握のため、レポーター各自「かならず」一枚提出してください。

お名前

(本名でもペンネームでも構いません)

郵便番号〒

ご住所

(～丁目までで結構です。番地はいりません)

・選択式の質問については、あてはまるもののチェックボックス□にチェック☑を入れてください。

① 最初に、飛び出し坊や全般についてお聞きします。

①-1 知っていましたか  1. はい  2. いいえ

①-2 実物を見ましたか  1. はい  2. いいえ

①-3 何と呼んでいましたか ( )

② 飛び出し坊や発祥の地が滋賀県であることを知っていますか。

1. はい  2. いいえ

③ あなたの年代は次のうちどれですか。あてはまるものにチェックして下さい。

1. 9歳以下  2. 10-19歳  3. 20-29歳  4. 30-39歳  5. 40-49歳

6. 50-59歳  7. 60-69歳  8. 70-79歳  9. 80歳以上

④ あなた自身の自動車の運転についてうかがいます。

④-1 あなたは、自動車の運転をされますか。  1. はい  2. いいえ

④-2 ④-1で、はい、と回答された方にお聞きします。どれくらいの頻度で運転をされますか。

1. ほぼ毎日 (週4回以上)  2. 時々 (週1~3回)  3. まれに (週1回未満)

⑤ 飛び出し坊やはどちらのためにあると思いますか。より近いと思う方を1つ選んでください。

1. 車道に出る子供が車が来ないか安全確認をするため  
 2. 走行する車が脇道から子供の出てくるのを注意するため

⑥ 飛び出し坊やは交通安全に貢献していると思いますか。

1. はい  2. いいえ  3. どちらともいえない

⑦ あなたのご町内に設置されている数はどれくらいですか。

1. とても多い (21体以上)  2. 多い (6-20体)  
 3. 少ない (1~5体)  4. 全くない

⑧ 飛び出し坊やがあなたの町内で設置された理由が分かれば教えてください。(複数チェック可)

1. 地区内に学校があるから  2. 事故があったから  
 3. PTA活動が盛んだから  4. 地域の自治会が積極的だから  
 5. その他 具体的に:

( )

<次のページへ>

⑨ 飛び出し坊やの設置数についてどのように考えていますか。

1. 多すぎる

2. 少なすぎる

3. ちょうどよい

⑩ あなたの御町内の付近ではどこが設置していますか。

(複数チェック・可)

1. 教育委員会

2. 自治会

3. 町内会

4. 社会福祉協議会

5. 交通安全協会

6. 老人会

7. PTA

8. 地元の事業所

9. その他

⑪ あなたは飛び出し坊やの設置に関わったことがありますか。

1. はい

2. いいえ

関わったと答えてくださった方はその内容を教えてください。

※いつごろ、※どこで、※だれと、※どのように

例：{5年前春に、〇〇小学校PTAの要請で、△△町内会メンバー6人が、交通安全協会提供の3体を、2日かけて、△△町児童公園付近に設置した}

⑫ 飛び出し坊やの思い出など何でもお書きください。

⑬ こんな飛び出し坊やがあったらと思う方は自由に書いてください。文でも、イラストでも結構です。

<調査票-1 終り>

フィールドレポーター 2016年度第1回調査

「飛び出し坊やを調べよう」

調査番号 \_\_\_\_\_

「調査票-2」

飛び出し坊や1体につき1枚にまとめてください

調査者 \_\_\_\_\_

(本名でもペンネームでも構いません)

・選択式の質問については、あてはまるもののチェックボックス□にチェック☑を入れてください。

① 飛び出し坊やのある場所の住所を教えてください。

市町名	町名、大字など	番地
_____	_____	_____

わかれば学区・自治会名 \_\_\_\_\_

○地図があれば、場所をプロットしてこの報告書に添付してください

○緯度・経度がわかれば、以下のうちどれか1つの方法で記録してください。

北緯	東経	例(琵琶湖博物館エントランス)
・十進数 _____ °N,	_____ °E	35.07392°N, 135.93487°E
・度分 _____ ° _____ 'N,	_____ ° _____ 'E	35°4.435'N, 135°56.092'E
・度分秒 _____ ° _____ ' _____ "N,	_____ ° _____ ' _____ "E	35°4'26.1"N, 135°56'5.5"E

② 飛び出し坊やの姿を教えてください。

②-1 写真が撮影できれば、調査票に添付してください。

○調査票を郵送あるいはFAXでお送りいただく場合: 写真の裏にお名前と対応する調査番号を記して下さい。

○調査票をメール添付でお送りいただく場合: 同じメールに添付し、写真のファイル名を下に記して下さい。

ファイル名 \_\_\_\_\_

②-2 どこで製作されたものですか(一つに☑チェック)

1. 手作り       2. 既製品 (市販)       3. その他 ( \_\_\_\_\_ )

②-2 どんなポーズをしていますか。参考資料“分類表”の番号1~13で教えてください。 ( \_\_\_\_\_ )

○どれにも当てはまらないものは最も近いものを選んでください

○同じでなければ異なる点を書いてください

( \_\_\_\_\_ )

○スケッチの得意な方はどうぞ(別紙可)

送付先 郵送: 〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091 滋賀県立琵琶湖博物館 フィールドレポーター係  
 FAX: 077-568-4850 E-mail: freporter@lbm.go.jp

<次のページへ>

③ 飛び出し坊やのいる場所を下の番号で選んでください。(一つに☑チェック)

- |                                      |                                      |                                      |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 道路に面した歩道 | <input type="checkbox"/> 2. 信号のある交差点 | <input type="checkbox"/> 3. 信号のない交差点 |
| <input type="checkbox"/> 4. 民家出入口    | <input type="checkbox"/> 5. 駐車場出入口   | <input type="checkbox"/> 6. お店の出入口   |
| <input type="checkbox"/> 7. 公園の出入口   | <input type="checkbox"/> 8. その他      |                                      |

{ }

④ 飛び出し坊やの立ち位置はどのようですか。(一つに☑チェック)

- |                                 |                                |                                  |                                  |                                  |
|---------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 自立  | <input type="checkbox"/> 2. 電柱 | <input type="checkbox"/> 3. 他の標識 | <input type="checkbox"/> 4. フェンス | <input type="checkbox"/> 5. 植え込み |
| <input type="checkbox"/> 6. その他 |                                |                                  |                                  |                                  |

{ }

⑤ 飛び出し坊やの目の高さはどれくらいの位置にありますか。10 cm単位でお答えください。(2m以上の高い所は50cmキザミ可)

地面から坊やの目の当たりまでの長さ \_\_\_\_\_ cm

⑥ 飛び出し坊やは壊れたりよごれたりしていませんか。(複数☑チェック可)

- |                                  |                                       |                                  |                                |                                 |
|----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 手のケガ | <input type="checkbox"/> 2. 足のケガ      | <input type="checkbox"/> 3. 顔のケガ | <input type="checkbox"/> 4. 汚れ | <input type="checkbox"/> 5. 色あせ |
| <input type="checkbox"/> 6. 落書き  | <input type="checkbox"/> 7. ポールが折れている | <input type="checkbox"/> 8. その他  |                                |                                 |

{ }

⑦ 飛び出し坊やの近くに学校や施設がありますか。

⑦-1 学校・施設を下からか選んでください。(複数☑チェック可)

- |                                     |                                 |                                 |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1. 幼稚園・保育園 | <input type="checkbox"/> 2. 小学校 | <input type="checkbox"/> 3. 中学校 |
| <input type="checkbox"/> 4. その他     |                                 |                                 |

{ }

⑦-2 学校・施設名

{ }

⑧ 飛び出し坊やはどこが設置したのですか。

⑧-1 ポールや坊やに書いてあればそのまま書いてください

{ }

⑧-2 書いてなくてもご存じの場合は書いてください

{ }

⑨ その他、ご近所などの聞き取りなどありましたら書いてください。

{ }

<調査票-2 終り>

参考資料1

飛び出し坊やの仲間たち “分類”

**0系** とびたくん あるいは 飛出とび太  
**標準** 丸坊主で手足軽く前後の決めポーズ  
 赤の長シャツ、黄色の長ズボン、黒の靴

①  
0系

No Image

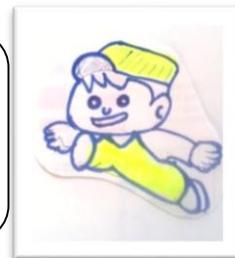
📖 仲間たちは色々ですが特に決められた分類があるわけではありません。

📖 **〇〇系**は決まった分類法ではありません。選択の目安にしてください。

📖 各系に女の子バージョンがあり、裏表で男の子・女の子もあります。

⑥ 足が全開で飛び上っている。口はあまり開けていません。

100系



② 帽子をかぶる。手足が長くスマート。半ズボン。標準に近い姿で学生服もあります。

200系



⑦ 足が全開 口も全開。爺ちゃん婆ちゃんバージョン。他色々あります。

400系



㈱メイバン 石川県

③ つなぎのズボン。片手軽く前出し口が大きい。帽子 靴 黄色。帽子が横被りのものがあります。

700系



⑧ 片手でストップ。両手ストップもあります。男の子、女の子別々。

800系



安全興業(株)福岡県

④ ポーズが大きい。安全表示入り、女の子のバージョンもあります。

300系



⑨ **バンザイ系**  
女の子が多い。市販品もあります。



トグ安全工業㈱ 大阪府

⑩ マンガの人物・キャラクター

⑪ 創作・オリジナル

⑤ **ランニング系**  
ポーズが大きい。正面向きが多い。



⑫ 動物

⑬ その他